

FAO / WHO 合同食品規格計画

第 37 回残留農薬部会

日時 : 2005 年 4 月 18 日 (月) ~ 4 月 23 日 (土)

場所 : ハーグ (オランダ)

仮議題

1 .	議題の採択
2 .	報告者の選任
3 .	コーデックス総会及びその他の部会からの付託事項
4 .	2004 年 FAO/WHO 合同残留農薬専門家会合からの一般審議事項の報告
5 .	経口摂取量に係わる GEMS/Food の進捗報告
6 .	確率論的モデリングに関する討議資料：最大残留基準値(MRL)は健康保護のための基準値か、貿易のための基準値か？
7 . (a)	食品及び飼料の MRL 案及び原案 (ステップ 7 及び 4)
	急性経口摂取について懸念のある CXL 及び MRL のリスト
(b)	より安全な代替農薬の各国基準を暫定コーデックス MRL として検討するためのパイロットプロジェクト
8 .	加工または調理済み食品の MRL の設定
9 .	本部会が農薬の MRL を設定する際のリスク分析方針
10 .	残留農薬分析法に係わる検討事項
(a)	残留農薬の同定、確認及び定性分析における質量分析の使用に関するガイドライン原案 (ステップ 4)
(b)	結果の不確かさの推定に関するガイドライン原案 (ステップ 4)
(c)	測定における不確かさの使用や影響について
(d)	残留農薬分析法リストの改訂原案 (ステップ 4)
11 .	農薬に関するコーデックス優先リストの設定
(a)	JMPR (FAO/WHO 合同残留農薬専門家会議) に評価を依頼する農薬の優先順位付けのための規準の改訂案
12 .	食品及び飼料のコーデックス分類の改訂原案 (ステップ 4)
13 .	その他及び今後の作業
14 .	次回会合の日程及び開催地
15 .	報告書の採択

標記会合に先立ち、2005 年 4 月 16 日 (土) に「農薬のコーデックス優先リストの設定に関する特別作業部会」が、また会合期間中の 4 月 19 日 (火) に「分析法に関する特別作業部会」が開催される予定。

第 37 回コーデックス残留農薬部会 (CCPR) の主な議題について

議題 6 確率論的モデリングに関する討議資料: 最大残留基準値(MRL)は健康保護のための基準値か、貿易のための基準値か?

Discussion Paper on Probabilistic Modeling: MRL: Health or Trade Limits (CX/PR 05/37/4)

コーデックスにおける残留農薬基準設定において、暴露評価への確率論的モデリングの採用についてオランダの作成した作業文書に基づいて議論されるもの。

討議資料では、以下の点について問題を提起している。

- MRL の安全性に関するリスク管理者の論点は何か？
- 暴露評価に用いる食品摂取量の計算は「人口全体」に基づくか「摂取者のみ」に基づくか？
- 最低限収集すべき食品摂取データは何か？
- 毒物学的検討：急性参照量は何を示しているか？

議題 7(b) より安全な代替殺虫剤の各国基準を暫定コーデックスMRLとして設定するためのパイロットプロジェクト

Pilot Project for the Examination of National MRLs as Interim Codex MRLs for Safer Replacement Pesticides (CL 2004/48 – PR, CX/PR 05/37/6, CX/PR 05/37/6-Add.1)

作業部会のリーダーである米国から、前回部会での決定に基づき、農薬 3 剤 (bifenazate, fludioxinil 及び trifloxystrobin) の暫定基準案及び暴露評価結果が各国に配布され意見が求められたところ。これに対して、我が国は、本プロジェクトに関する第 26 回コーデックス総会の結論であるリスク分析の原則に基づき JMPR での評価を優先すべきであること、今般膨大な評価資料が配布されたが各国がこれを評価するのに十分な時間が無く手続き上懸念があること及び当該農薬の我が国での登録状況を踏まえた暫定基準案の見直しを意見として提出した。作業文書は未着。

議題 9 農薬のMRLの設定にあたって本部会が使用するリスク分析方針

Risk Analysis Policies Used by the Committee in Establishing for Pesticides (CX/PR 05/37/8)

前回部会での決定に従い、議長及び我が国により、CCPR と JMPR の役割分担及び関係について、CCPR がこれまで MRL 設定に関して決定した事項を反映したリスク分析方針 (案) を提案するものである。合意に至れば、手続きマニュアルに収載される予定。